

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2019年 第35週 (8/26-9/1) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

| 報告のあった定点数                |          | 35週 | 34週 | 33週 | 32週 |
|--------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|
| 上段: 患者数<br>下段: 定点当たりの患者数 | 小児科      | 18  | 18  | 18  | 15  |
|                          | 眼科       | 5   | 5   | 5   | 4   |
|                          | インフルエンザ* | 28  | 28  | 28  | 22  |
|                          | 基幹定点     | 1   | 1   | 1   | 1   |

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

| 定点   | 感 染 症 名                   | 千 葉 市 |            |            |            |              | 千葉県         |
|------|---------------------------|-------|------------|------------|------------|--------------|-------------|
|      |                           | 注意報   | 8/26-9/1   | 8/19-8/25  | 8/12-8/18  | 8/5-8/11     | 8/19-8/25   |
|      |                           |       | 35週        | 34週        | 33週        | 32週          | 34週         |
| 小児科  | RSウイルス感染症                 | ○     | 25<br>1.39 | 20<br>1.11 | 16<br>0.89 | 20<br>1.33   | 186<br>1.40 |
|      | 咽頭結膜熱                     | ○     | 13<br>0.72 | 1<br>0.06  | 4<br>0.22  | 4<br>0.27    | 34<br>0.26  |
|      | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎             |       | 27<br>1.50 | 22<br>1.22 | 5<br>0.28  | 19<br>1.27   | 182<br>1.37 |
|      | 感染性胃腸炎                    |       | 49<br>2.72 | 52<br>2.89 | 27<br>1.50 | 30<br>2.00   | 292<br>2.20 |
|      | 水痘                        |       | 2<br>0.11  | 3<br>0.17  | 2<br>0.11  | 3<br>0.20    | 23<br>0.17  |
|      | 手足口病                      |       | 47<br>2.61 | 61<br>3.39 | 34<br>1.89 | 159<br>10.60 | 307<br>2.31 |
|      | 伝染性紅斑                     |       | 7<br>0.39  | 6<br>0.33  | 5<br>0.28  | 12<br>0.80   | 97<br>0.73  |
|      | 突発性発しん                    |       | 8<br>0.44  | 14<br>0.78 | 5<br>0.28  | 13<br>0.87   | 56<br>0.42  |
|      | ヘルパンギーナ                   |       | 16<br>0.89 | 12<br>0.67 | 6<br>0.33  | 11<br>0.73   | 98<br>0.74  |
|      | 流行性耳下腺炎                   |       | 0<br>0.00  | 2<br>0.11  | 1<br>0.06  | 1<br>0.07    | 12<br>0.09  |
| インフル | インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く) |       | 2<br>0.07  | 3<br>0.11  | 1<br>0.04  | 0<br>0.00    | 21<br>0.10  |
| 眼科   | 急性出血性結膜炎                  |       | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00    | 1<br>0.03   |
|      | 流行性角結膜炎                   | ○     | 9<br>1.80  | 8<br>1.60  | 5<br>1.00  | 7<br>1.75    | 23<br>0.68  |
| 基幹定点 | 細菌性髄膜炎<br>(髄膜炎菌性髄膜炎を除く)   |       | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00    | 1<br>0.11   |
|      | 無菌性髄膜炎                    |       | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00    | 0<br>0.00   |
|      | マイコプラズマ肺炎                 |       | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00    | 2<br>0.22   |
|      | クラミジア肺炎<br>(オウム病を除く)      |       | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00    | 0<br>0.00   |
|      | 感染性胃腸炎<br>(ロタウイルスに限る)     |       | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00  | 0<br>0.00    | 0<br>0.00   |

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

## 2 全数報告対象疾患(14件)

| 病名     | 性  | 年齢層   | 診断(検査)方法   | 病名  | 性  | 年齢層   | 診断(検査)方法  |
|--------|----|-------|------------|-----|----|-------|-----------|
| 結核     | 男性 | 30歳代  | 病原体等の検出等   | 百日咳 | 男性 | 10歳代  | 病原体遺伝子の検出 |
| 結核     | 女性 | 20歳代  | 画像検査       | 百日咳 | 女性 | 10歳未満 | 病原体遺伝子の検出 |
| 結核     | 女性 | 30歳代  | 病原体遺伝子の検出等 | 百日咳 | 女性 | 10歳未満 | 病原体遺伝子の検出 |
| 結核     | 女性 | 30歳代  | IGRA検査等    | 百日咳 | 女性 | 10歳未満 | 病原体遺伝子の検出 |
| レジオネラ症 | 男性 | 60歳代  | 病原体抗原の検出   | 百日咳 | 女性 | 10歳代  | 病原体遺伝子の検出 |
| 破傷風    | 男性 | 60歳代  | 臨床診断       | 百日咳 | 女性 | 20歳代  | 病原体遺伝子の検出 |
| 百日咳    | 男性 | 10歳未満 | 抗体の検出      | 百日咳 | 女性 | 40歳代  | 抗体の検出     |

\* 第35週は、結核4件(127)、レジオネラ症1件(10)、破傷風1件(2)、百日咳8件(111)の報告があった。

※ ( )内は2019年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

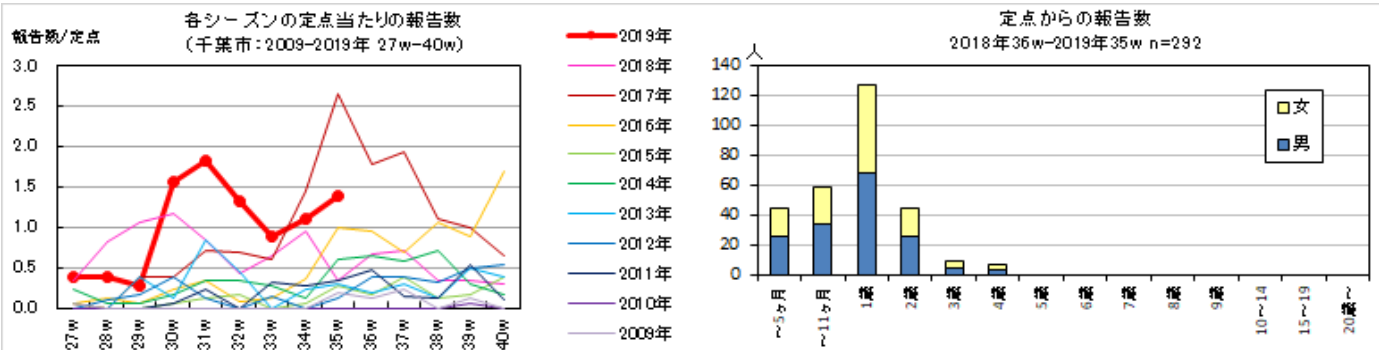
## 定点当たり報告数 第35週のコメント

- ＜RSウイルス感染症＞前週より更に増加し1.39となった。過去10年の同時期と比べると多い。
- ＜咽頭結膜熱＞前週より増加し0.72となった。過去10年の同時期と比べると最多。
- ＜流行性角結膜炎＞前週より増加し1.80となった。過去10年の同時期と比べると多くなっている。

### ■ トピック ■

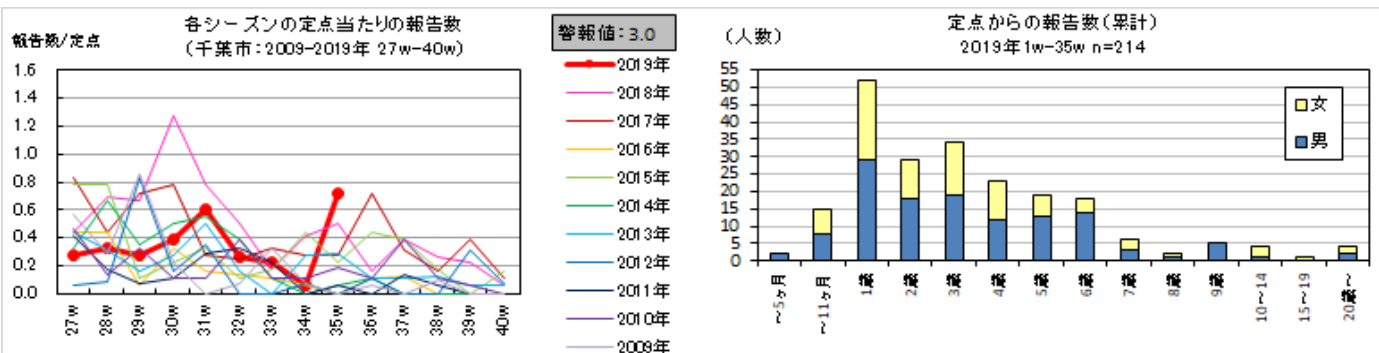
#### ＜RSウイルス感染症＞

全国レベルの第34週の定点当たりの報告数は1.37で、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では宮崎県、福岡県、長崎県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は1.40で、全国レベルとほぼ同等レベルとなっています。千葉市の第35週は前週より更に増加し1.39となりました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、緑区(2.75/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第36週から2019年第35週までの累積報告数は292件で、性別では男性が55.5%(162名)、女性が44.5%(130名)となっており、年齢階級別では1歳(43.5%:127名)、6-11か月(20.2%:59名)、0-5か月及び2歳(共に15.4%:45名)の順で多くなっています。



#### ＜咽頭結膜熱＞

全国レベルの第34週の定点当たりの報告数は0.41で、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。都道府県別では沖縄県、高知県、大分県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は0.26で、全国レベルと比べると少なめとなっています。千葉市の第35週は前週より増加し0.72となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、花見川区(2.5/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。2019年第1週から第35週までの累積報告数は214件で、性別では男性が59.3%(127名)、女性が40.7%(87名)となっており、年齢階級別では1歳(24.3%:52名)、3歳(15.9%:34名)、2歳(13.6%:29名)の順で多くなっています。



#### ＜流行性角結膜炎＞

全国レベルの第34週の定点当たりの報告数は0.84で、過去10年の同時期と比べるとやや多めとなっています。都道府県別では佐賀県、鹿児島県、熊本県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は0.68で、全国レベルと比べるとやや少なめとなっています。千葉市の第35週は前週より増加し1.80となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、美浜区(7.0/定点)で最多で、同区の2歳及び5歳で最も多く発生報告がありました。2019年第1週から第35週までの累積報告数は91件で、性別では男性が58.2%(53名)、女性が41.8%(38名)となっており、年齢階級別では30歳代(25.3%:23名)、40歳代(17.6%:16名)、20歳代(9.9%:9名)の順で多くなっています。

